

Steyr Model-GB

ステアー・
モデルGB

分解・組立参考図
(販売店専用)

この参考図をユーザーに配布するのは絶対にしないで下さい。
(不必要な分解によるトラブルが生じます)
また、修理の参考にとどめ、不必要な分解やパワーアップの
為の改造は避けて下さい。



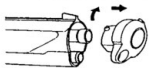
⑨はスプリングピン
⑩はウエイトを示します。

ガスモレ故障で 分解される方へ

ガスモレ故障と思われる場合でも、シリンダー内部のオイル不足が原因の場合があります。
分解する前に、シリコン注入フロンガスを一度充填してみてください、それでも未だガスモレ
が起きる時は分解修理をお願いします。

分解 ボンベ内のガスを完全に抜いてから始めて下さい。

1 ロックキャップを右へ
45°ほど回してははずします。



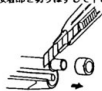
① スライドを後ろに引き、上に持ち
上げ抜きとります。



② ハンマーを起こします。

③ リコイルキャップと
スプリングをはずし
ます。

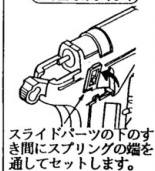
2 バレルキャップをはずします。
(一部、接着されているのでカッターなど
で接着部を切りははずして下さい。)



3 グリップ、ウエイト、
スライドパーツをはずします。



組み立てのポイント



スライドパーツの下のす
き間にスプリングの端を
通してセットします。

パーツリスト

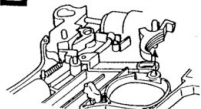
No	パ ー ツ 名	価 格	送 料
1	スライド	500	250
2	フレム(左)	350	250
3	・ (右)	350	250
4	グリップ(左)	200	175
5	・ (右)	200	175
6	グリップスクリュー(4本)	200	62
7	バレルセット	500	175
8	バレルリンクセット	200	120
9	バレルパイプ	200	120
10	バレルスプリング	100	62
11	ハンマー	300	120
12	シアーセット	200	62
13	ロックキャップ (ステアー用)	500	250
14	ハンマースプリング	100	62
15	ハンマーリンクセット	200	120
16	トリガー	200	120
17	トリガーバー	200	120
18	インナーセーフティ セット	300	120
19	アウトセーフティ	200	62
20	スライドパーツセット	200	120
21	バレルキャップ	150	62
22	マガジンキャッチセット	200	62
23	シリンダーアッセンブル	1,000	175
24	シリンダー(ボンベ付) ステアー用	500	175
25	リングセット(大・中・小)	200	62
26	シリンダーパッキン	100	62
27	シリンダーバルブ	200	62
28	シリンダースプリング	100	62
29	シリンダースリーブ	50	62
30	シリンダーフタ(ビス付)	150	120
31	リコイルスプリングキャップ	150	62
32	ビスセット (スプリングピン付き)	250	62
33	マガジン	600	175
34	リコイルスプリング	100	120
35	リコイルロッド	300	120
36			
37			

4 ピスをはずしフレームをあけます。

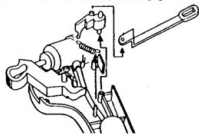


SP(スプリングピン)が入っているのでドライバーなどでこじって開けます。

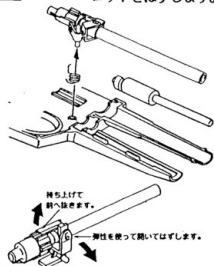
5 トリガーをはずします。



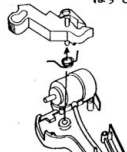
6 トリガーバーとハンマーリンクスプリングをはずします。



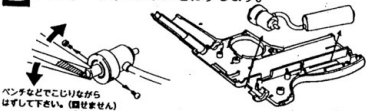
7 バレルアッセンブル、リコイルロッドをはずします。



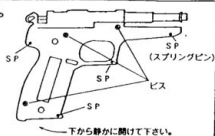
8 ハンマーアッセンブルをはずします。



9 シリンダーアッセンブルをはずします。



ペンチなどでこじりながらはずして下さい。(図せません)

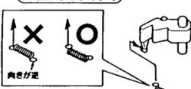


↓ 下から静かに開けて下さい。

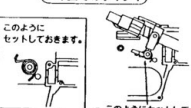
組み立てのポイント



組み立てのポイント



組み立てのポイント



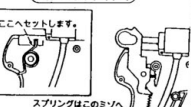
① このようにセットしてここをおさめます。

② 向こう側をレールにセットする。

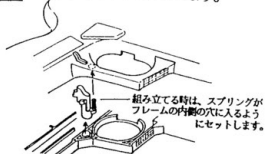


③ 最後はスプリングのツメをセットする。

組み立てのポイント



10 マガジンキャッチをはずします。



組み立て

1 シリンダーアッセンブル

●ガスモレによる故障は下のような原因が考えられます。

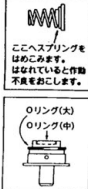
- (1) 摩耗ホースの摩耗部の破壊
- (2) シリンダーパッキンの不良
- (3) シリンダー内に異物が入った場合



シリコンオイルを
全量に塗ります。



ここでガスモレすると、
期間検査所で修理できます。

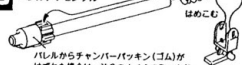


2 ハンマーアッセンブル

※組み立て後、各パーツが軽く動くかテストして下さい。



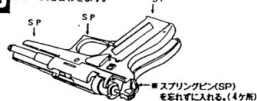
3 バレルアッセンブル



バレルからチャンバー(パッキン)ゴムがはなれた場合は、油分をよくふき取った後、期間検査所で取替すれば修理できます。

4 上のアッセンブルパーツを組み立てたら、分解を逆に(組み立てのポイントを参考に) ①～⑩まで組みます。

5 フレームを合わせます。



6 ピスをしめ、トリガーを引いてテストしてみます。

7 分解の①～⑩を組みます。

